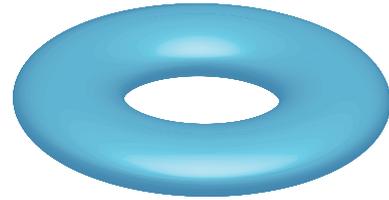


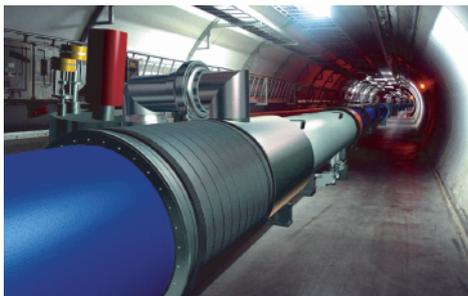
現在の素粒子実験は標準模型によって精度良く記述できる。
しかしこの模型には不明な点があり、それを解明するために
当研究室は様々なアプローチで研究している。

物理にかかわりの深い代数学
様々な幾何学



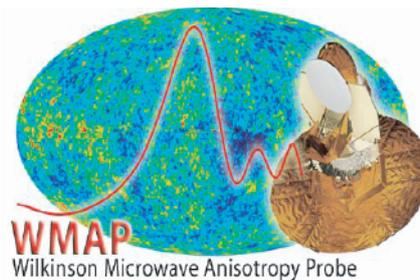
超弦理論の摂動論によらない解析
弦理論を越える究極理論の探求
場の理論とその応用

量子色力学 (QCD) のダイナミクス
格子ゲージ理論



超弦理論による標準模型の導出
加速器実験における新しい物理現象の予言

量子重力理論
ブラックホールの研究
インフレーション理論



画像提供 : NASA、CERN、KEK

素粒子論研究室 説明会

@理学部 5 号館

「素粒子論の描く世界」

501号室

第1回 11:00~

第2回 13:30~

研究室院生による説明会 (随時)

502号室